

2020年度 後援会費の有効活用 について

2020年11月21日
麗澤大学

1. 後援会費(大学援助費)について

1. 後援会費

令和2年度以降の予算編成方針について（2020.4.25 総会資料より）

■後援会費の予算編成については、麗澤大学のビジョン（知徳一体教育・専門性向上・正課外教育充実・学生満足度向上）実現を支援するための予算編成（特に大学援助費）を最優先とする。

■助成方法は、後援会費からの直接負担から、実績に応じた大学への全額助成（寄付金）方式に変更する。

■外国人留学生については、新たに【外国人留学生援助費】等の優先項目を設け、外国人留学生・保証人に還元できる予算を編成する。

■学生活動援助積立金は、周年記念事業で学生に還元される施設設備の整備援助費として毎年繰越金の一部を積み立てる。

2. 現状報告(大学援助費)

2. 現状報告 上半期の執行額（大学援助費）

■上半期の執行額

区分	予算	上期 執行額
教育活動援助費	11,301,000	903,340
道徳活動援助費	443,000	0
課外活動援助費	22,505,000	1,386,517
学生生活援助費	20,345,000	2,344,846
進路指導援助費	13,905,000	5,424,000
医療厚生援助費	12,559,000	2,997,100
外国人留学生援助費	5,000,000	0
機器・設備援助費	2,730,000	1,136,789
合計	88,788,000	14,192,592

2. 現状報告 執行予定額（大学援助費）

区分	概要	予算	執行予定額	余剰 予算額	
教育活動援助費	TOEIC、謝恩会など	11,301,000	10,151,340	1,149,660	課外活動禁止のため発生
道徳活動援助費	モラロジー教育関係	443,000	315,000	128,000	
課外活動援助費	合宿・交通費補助	22,505,000	12,100,584	10,404,416	食堂閉鎖のため発生
学生生活援助費	食堂補助	20,345,000	6,995,370	13,349,630	
進路指導援助費	キャリアセンター派遣料など	13,905,000	10,848,000	3,057,000	キャリアセンター関係
医療厚生援助費	災害保険、健康診断	12,559,000	12,028,100	530,900	
外国人留学生援助費	日本語能力検定補助	5,000,000	5,000,000	0	
機器・設備援助費	各種機械リース料	2,730,000	2,844,621	-114,621	
合計		88,788,000	60,283,015	28,504,985	

3. 後援会役員様からのご意見

3. ご意見（後援会役員）

多くの会員が利益を享受できることへの活用をご要望
→今期できることから開始し、**来期**の運営に活かす

要望	実施にむけて	予算
学生向けの情報を保護者へも配信 大学の現状、活動報告、モラロジー教育の 情報発信	・オクレンジャーを利用し月1回配信を予定 主に、後援会予算を使った活動報告を配信 →オクレンジャー登録率向上 ・『ニューモラル』の発送→ 電子版を検討中	0 情報発信回数は増やしていく
キャンパスライフ相談会 新入生に対する配慮、 学生相談窓口の充実	・保護者向けの相談会の充実(Zoomの活用) ・学生によるSNSを活用した活動:「学生サポート2020」 「SUNRISE麗澤大学新入生向け情報公開サイト」	1回 500,000円
後援会員および子女に向けた セミナーや講演会の開催	講演会を動画配信計画 キャリアセンターによる今年度の就職情報の配信	講師料200,000円
新入社員セミナーへの参加 (研究所と連携)	再検討 ※ キャリアセンターからは時期的に難しいとのこと	—

4. 大学からのご提案

4. 大学からのご提案

■活用方針

後援会役員様からのご要望を踏まえ、多くの学生が利益を享受できる方法で検討させていただきたい。

■大学からのご提案

- ・ 学生満足度向上につながる

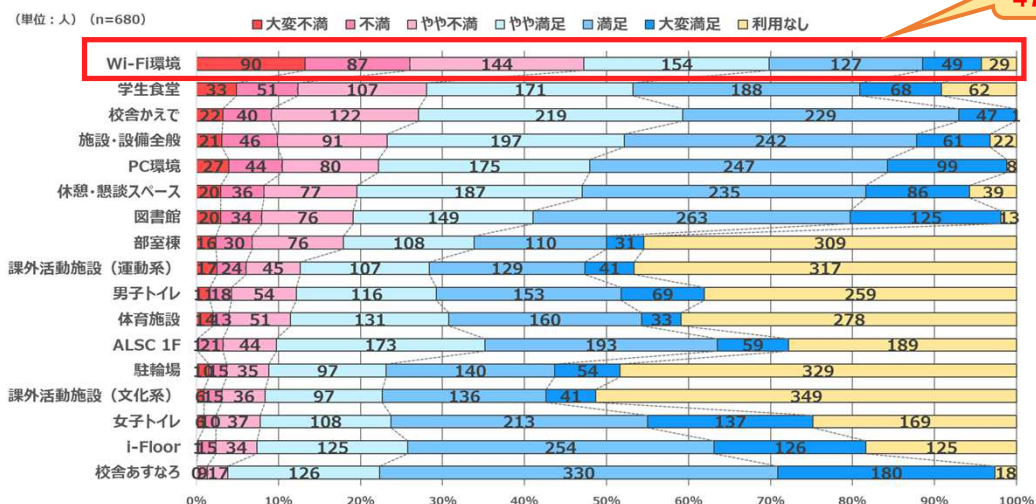
Wi-Fi環境改善・キャリアセンター施設の充実など

- ・ 教育支援

TOEICのオンライン試験官など

4. Wi-Fi環境の改善

■2019年度の学生満足度調査にて、学生からの要望が一番多かった要望



4. キャリアセンター施設の充実

■キャリアセンターの設備投資

全ての学生が大学卒業後、就職を目指すことから、キャリアセンター施設の充実は多くの学生が利益を享受する

■麗澤大学 キャリアセンターのコンセプト

「最強のキャリアセンター」

※就職活動の悩みを全て解決する

■設備投資の内容

今後のオンライン面接に備えた設備等

※後ほど、キャリアセンター(長谷川)より説明させていただきます。

4. TOEICのオンライン試験官について

■概要

TOEIC試験の結果は多くの企業において、学生の英語能力を図るテストとして活用されている。

本学においてもテスト受験を後押しするため、後援会費より試験料の補助や試験結果に応じた「特別奨学金」をお渡ししている。

■コロナ禍でのTOEIC試験

会場での実施が難しく、オンライン上での試験を実施していたが不正行為の可能性が拭いきれない。

オンライン試験官を配置し、オンライン受験におけるテスト結果の適正を図る。

5. まとめ

5. まとめ

■ 今期の余剰予算の活用方法

多くの学生が利益を享受できる方法

- ・ 学生満足度向上につながる

Wi-Fi環境改善(4,700万)

キャリアセンター設備の充実(1,500万) など

- ・ 教育支援

TOEICのオンライン試験官

(17.6万/320名分、20名に1名配置) など

※金額は概算